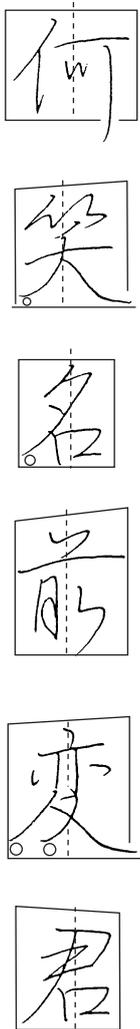


準初段から六段まで

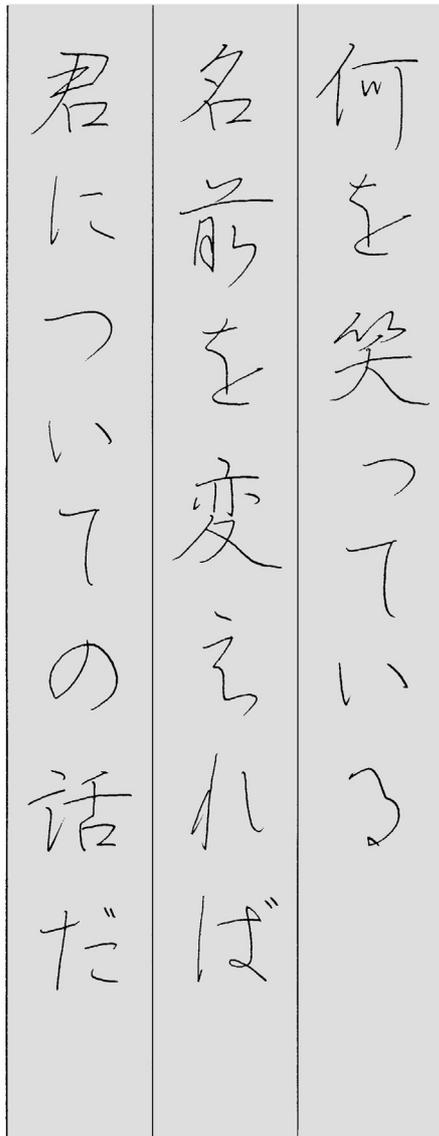
新入から1級まで

〔解説〕



ペン字の良い線とは、すっきりとした明快な線をいう。線が良くないと、いかに形が整っていても魅力的なペン字にはならない。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

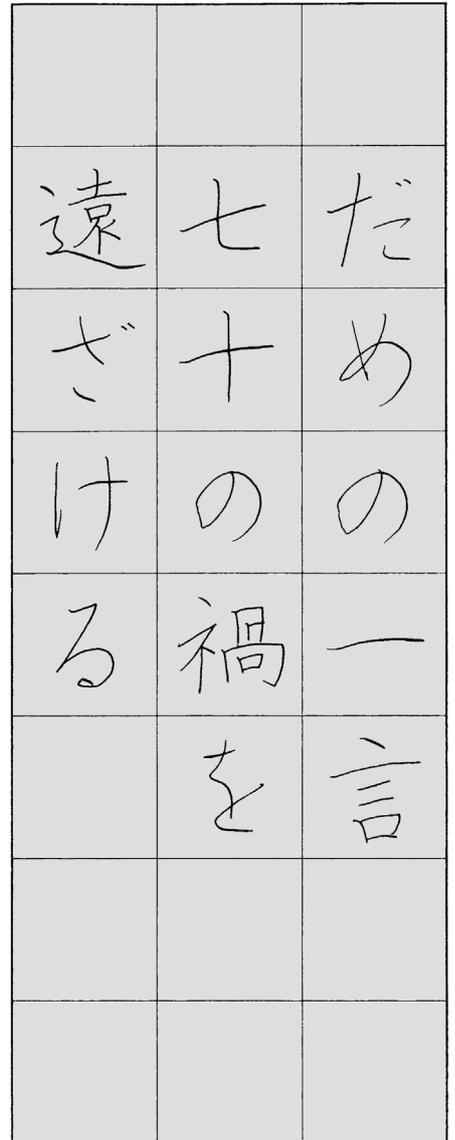
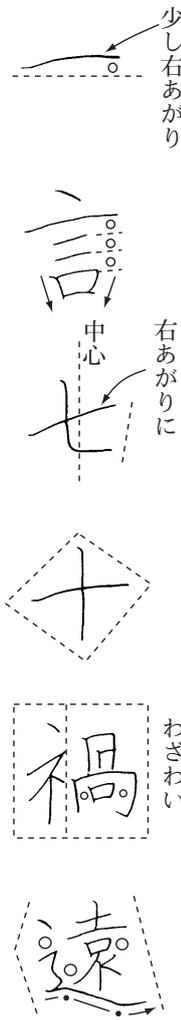


おか 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★だめの：（書体＝楷書）

インドのことわざ

親しい人、義理ある人の頼みには、中々「だめ」とは言いにくいものです。特に日本では、自分の意見をはっきり言わない方が謙虚で良いとされています。しかし、それがわざわいを招くことが多々あります。時には思い切った、できないものはできないと明確に伝えることが肝心でしょう。

◆4月課題予告（行書）

腹が立ったら  
口を開く前に  
十数えよ

★何を：（書体＝行書）

ホラテイウス(前六五〜前八)

古代ローマの詩人

人間の愚かな行動をおもしろおかしく話す人がいます。聞いている人は他人事として笑いますが、実は自分も同じようなことをしていて、自分が笑われていることには気がつきません。他人の笑うべき愚かさは、省みれば自分の中にも存在するものなのです。

◆4月課題予告（楷書）

学問とは  
方法づけられた  
知識の体系である

▼教範・書範＝行草または草書

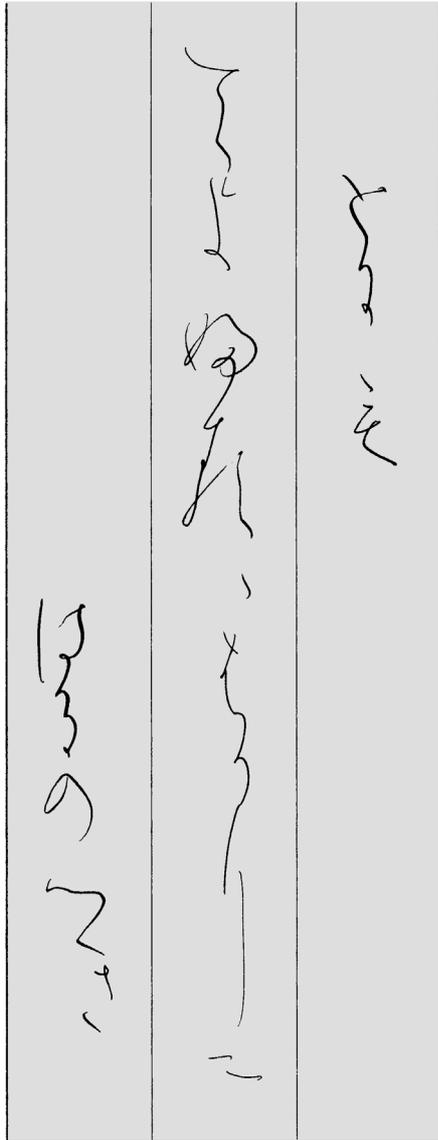
▼師範＝行書

# 一般部かな課題

締切り 3月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで



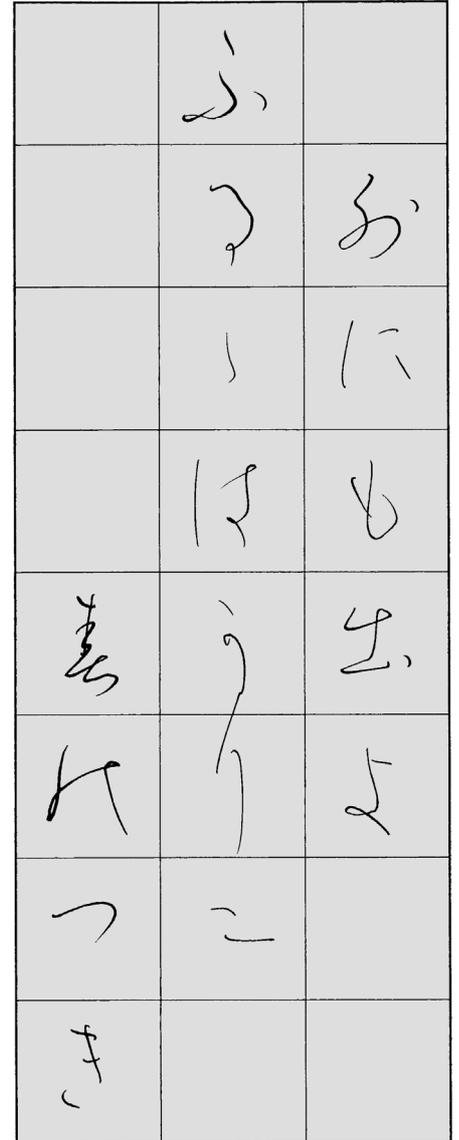
外とにも出もよ触ふるるば可可かに春はるの月つき

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

おお みや しゅん ちよう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



外とにも出もよ触ふるるば可可かに春はるの月つき

おお みや しゅん ちよう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

## ◆4月課題予告

まさなる空よりしだれざくらかな

(富安風生)

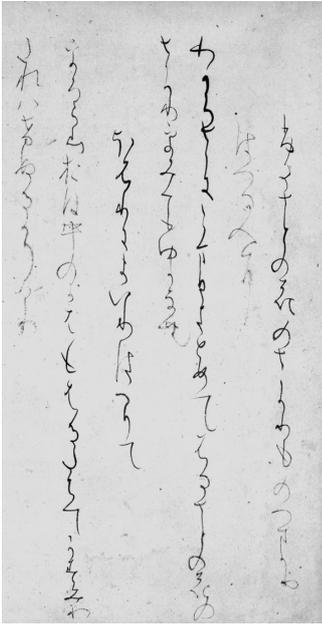
者は 類る 婦ふ 毛も 尔に  
者 類 婦 毛 尔  
者 類 婦 毛 尔  
者 類 婦 毛 尔  
者 類 婦 毛 尔

〔古筆参考〕

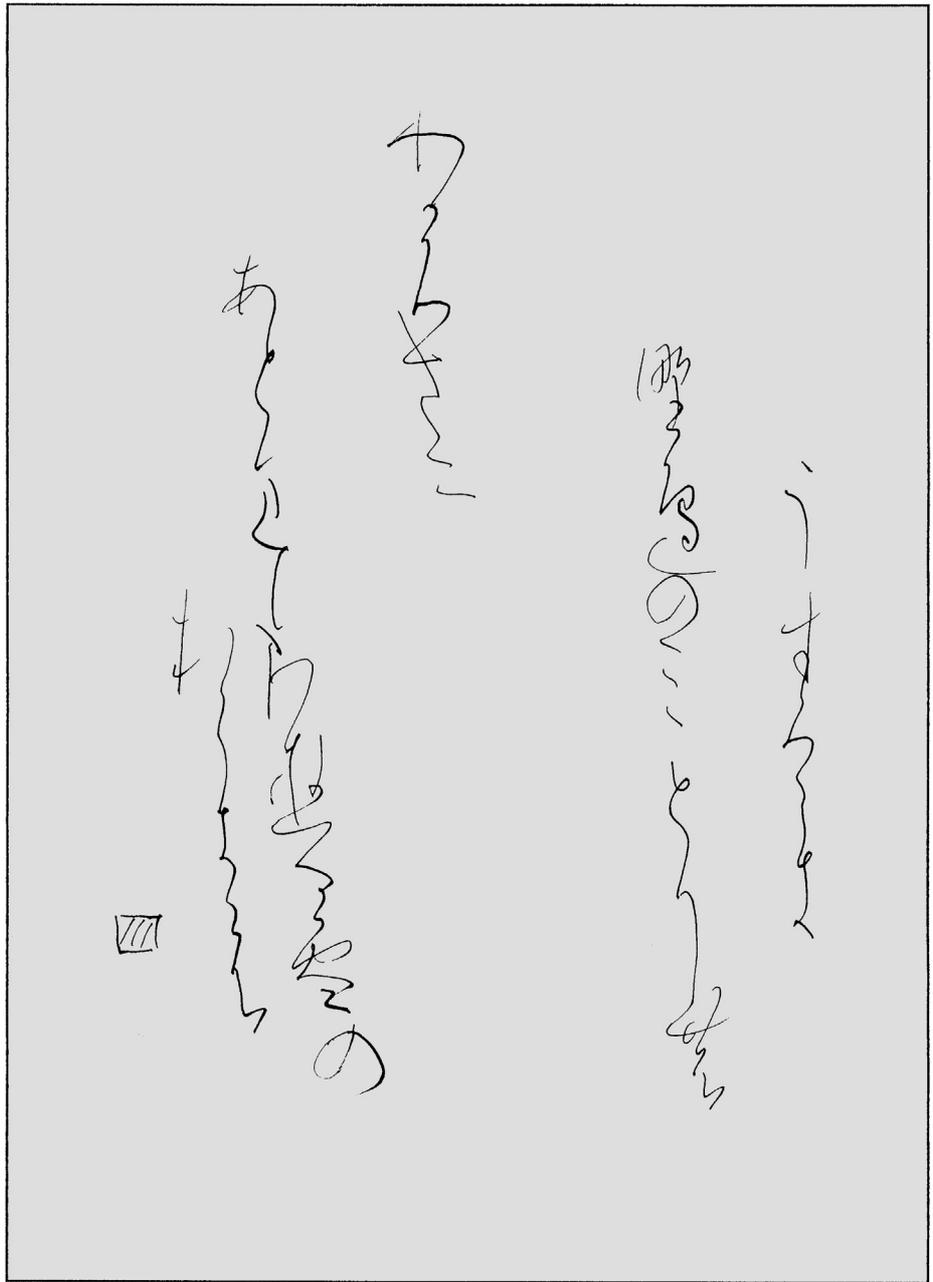
外とにも出もよ触ふるるば可可かに春はるの月つき  
(中村汀女)  
〔句意〕外に出てご覧になりませんか。こんなに大きな明るい春の月が出ていますよ。手を伸ばせば触れることが出来るように、ごく間近く感じられることです。

〔古筆参考〕

針切



布ふるさとの花のさかり、ものへまかり  
 はべる人に  
 わかくさにこまひきとめてふるさとの花の  
 さかりをみてもゆかなむ  
 ほふりにまいるはべりて  
 をぐら山おほのかはもはるたちてかすみわ  
 たればけぬるかりけり



締切り 三月二十五日(必着)

築瀬舟香書

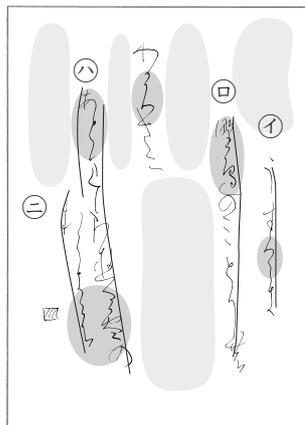
薄く濃き野辺のみどりの若草に  
 跡までみゆる雪のむらぎえ  
 宮内卿

〔歌意〕薄かったり濃かったりする野  
 辺の緑の若草によって、はっきりとわ  
 かります。雪があるいは速くあるいは  
 遅く消えていった様子が。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典大系)

〔解説〕



- ①と②、①と③、②と④、③と④、②と③、  
 それぞれ呼応。
- 墨の動き。一行の中の高まりが  
 墨の動きとなって面を作る。
- 大きな間。これが作品を美しく  
 見せる。

針切の内容

内容は「源 重之の子の僧の集」と  
 「相模集」との二部からなっており凛と  
 した線の張りとともに格調の高い清ら  
 かな美の世界を作りあげています。

◆4月課題予告

吉野山こぞのしをりの道かへて  
 まだ見ぬかたの花をたづねむ

(西行法師)

締切り 3月25日(必着)

主人と一緒にツーリングしようと、  
二輪の免許をやっとの思いで取得  
しました。初めに高山一泊旅行を  
計画しています。愛車のお披露目  
がてらお宅に立ち寄りますので、  
あまりの格好に驚かないでね。

主人と一緒にツーリングしようと、  
二輪の免許をやっとの思いで取得  
しました。初めに高山一泊旅行を  
計画しています。愛車のお披露目  
がてらお宅に立ち寄りますので、  
あまりの格好に驚かないでね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん  
岡 嶋 桂 川 書

履歴書では、書き方や筆跡により  
本人の人の柄や性格も判断される。

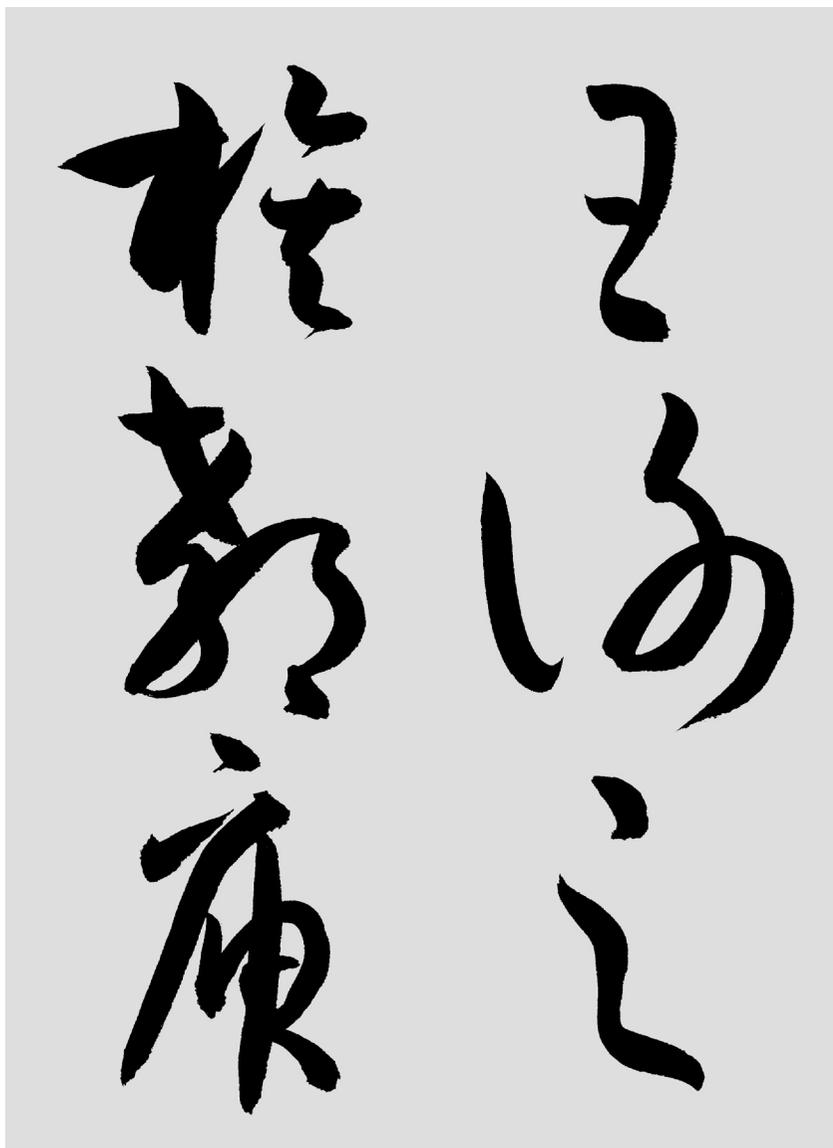
熊本県阿蘇市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 3月25日 (必着)

王  
謝  
之  
族  
郗  
庾



準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕王謝おうしやの族ちゆう、郗庾とちがら(の 倫 に至りては、)



新入から1級まで (楷書)

澤静雨書

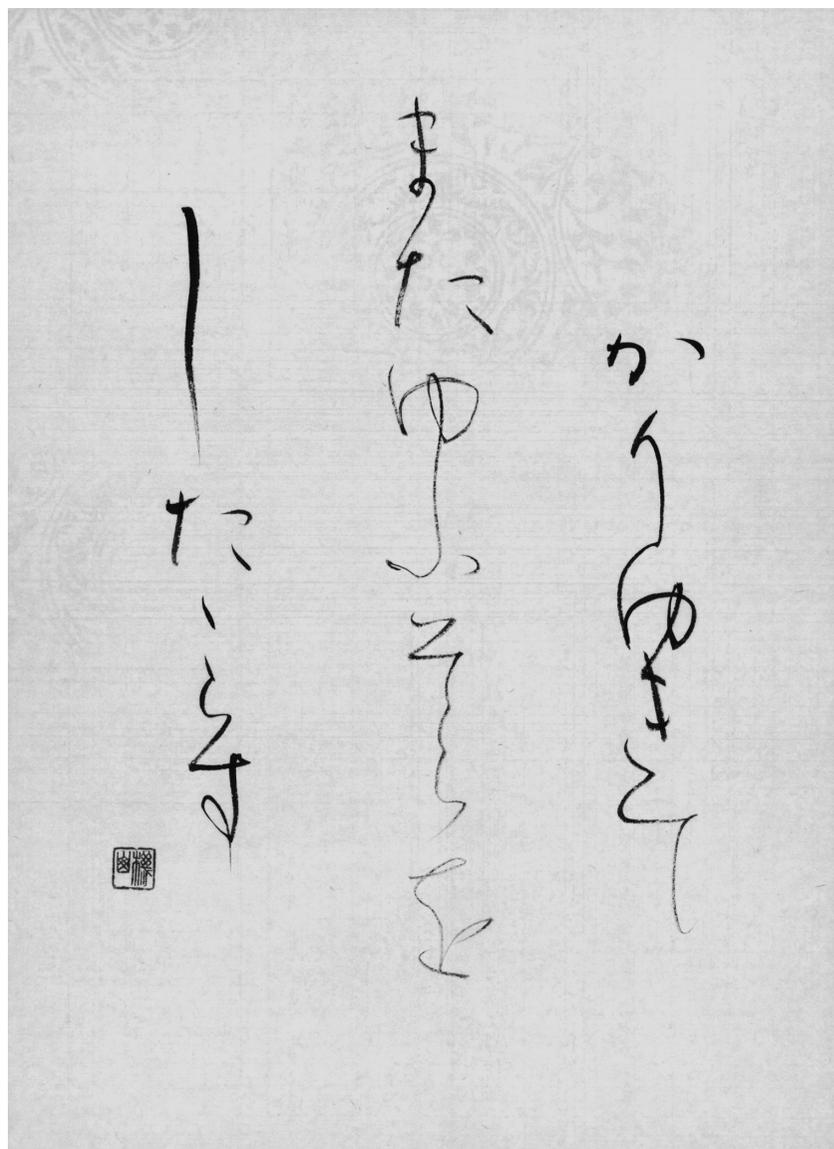
〔読み〕桃花 曉色 争う

〔大意〕桃花は紅色をして曉の色と争っている。

# 一般部毛筆かな課題

締切り 3月25日 (必着)

新入から1級まで

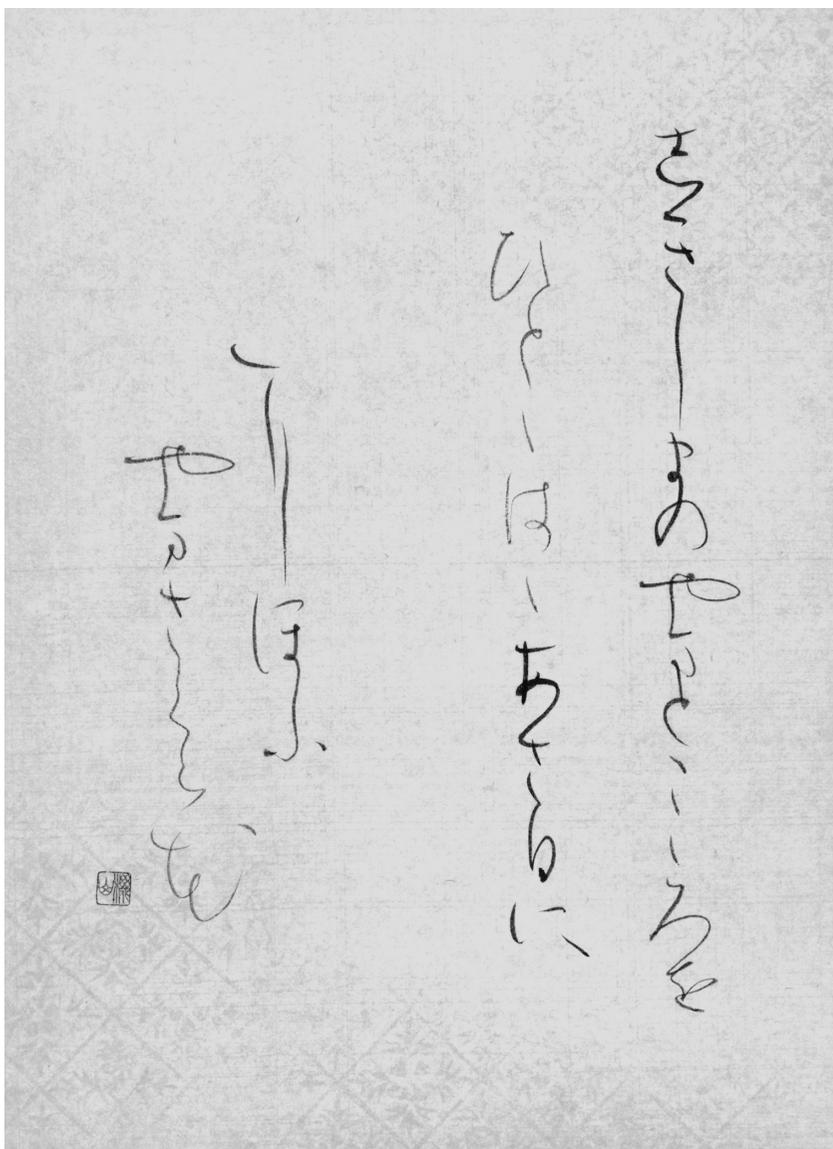


浅井機山先生書

〔出典〕 藤田湘子

〔句意〕 北へ帰る雁が夕空に消えていった。その後の夕空は春の愁いを滴らすかと思われた。行く雁を見送った後の愁いがよく表われた句である。

準初段から師範まで



■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

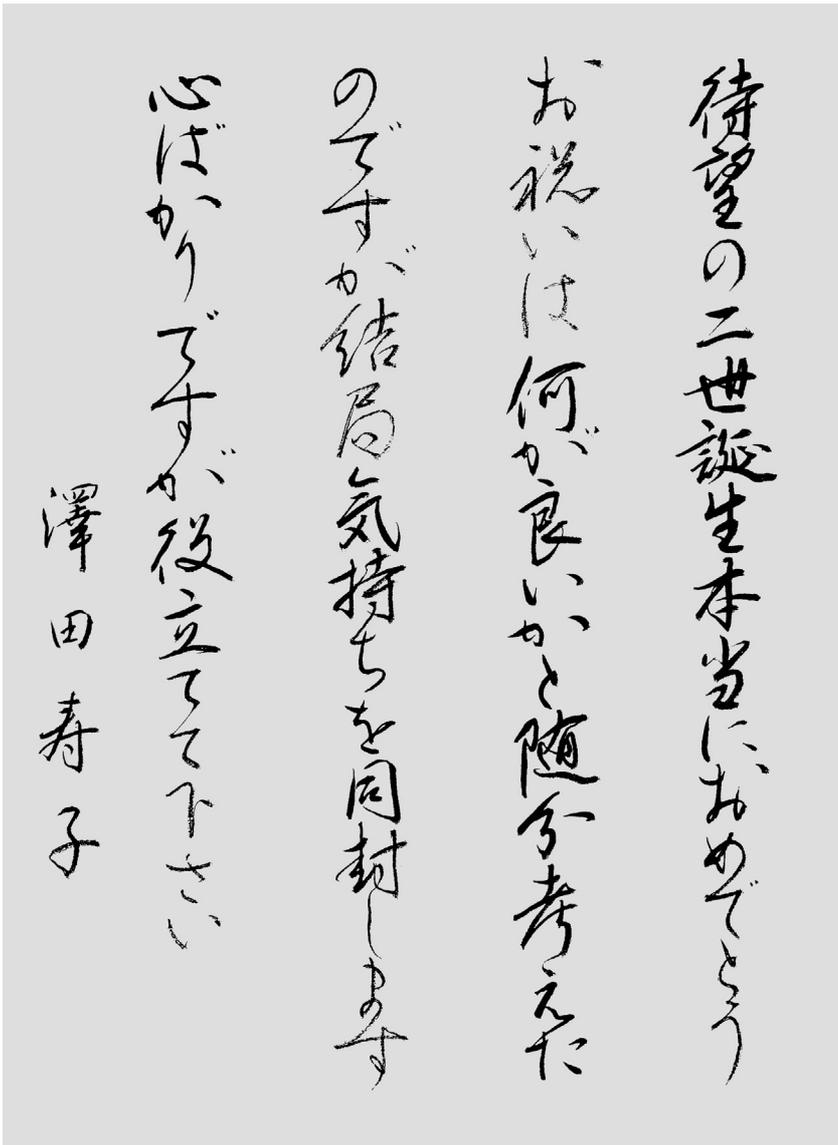
〔出典〕 本居宣長

〔歌意〕 大和心をもし人がどういふものかと聞いたら、朝日に映える山桜の花のようなものと答えよう。

志島の大和心を人間は、朝日ににほふ山ざくら花

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 三月二十五日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

萩田蒼仙書

〔条幅解説〕画の間を等間隔に書く……整正美、こ

れは実用書、教育書です。変化を求める芸術作品  
の中で疎と密も重要な要素です。この拙い作品か  
ら広狭、即ち疎密を留意して書いて下さい。

・待望の二世誕生本当におめでとう  
お祝いは何か良いかと随分考えた  
のですが結局気持ちを同封します  
心ばかりですが役立てて下さい  
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

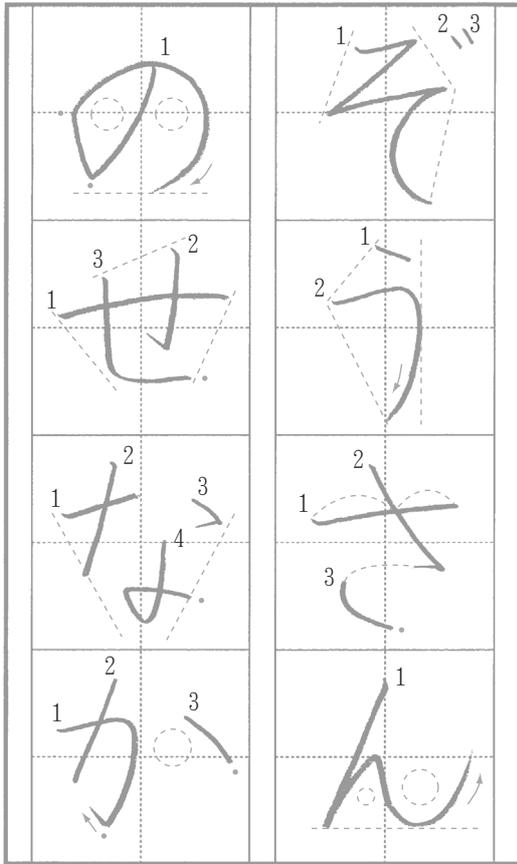
■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

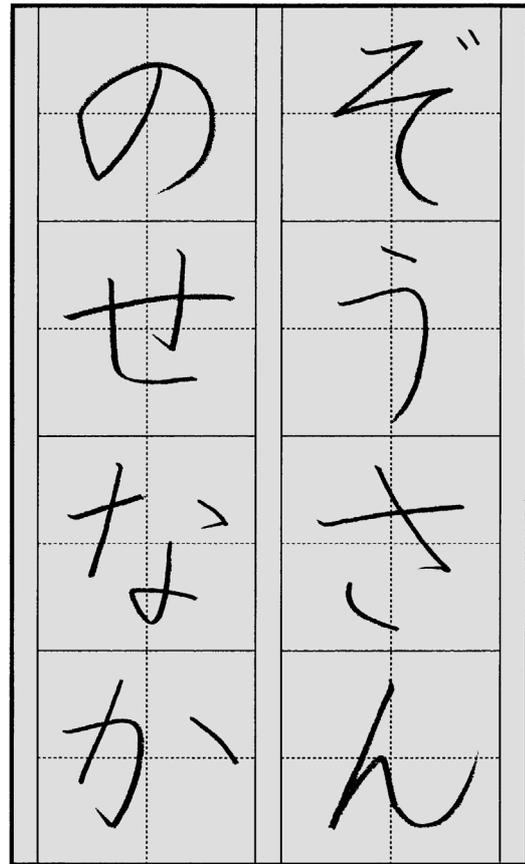
かへんこうちようしゅんぶうのさけ  
花邊好鳥春風酒  
しょうかのせいきんやげつのこう  
松下清琴夜月香  
孫 蒼仙書  
〔大意〕花の下、春風  
に鳥が鳴けば酒に酔う  
のによく、松の木かげ  
に弾ずる塵外の琴は夜  
月までにおう。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)



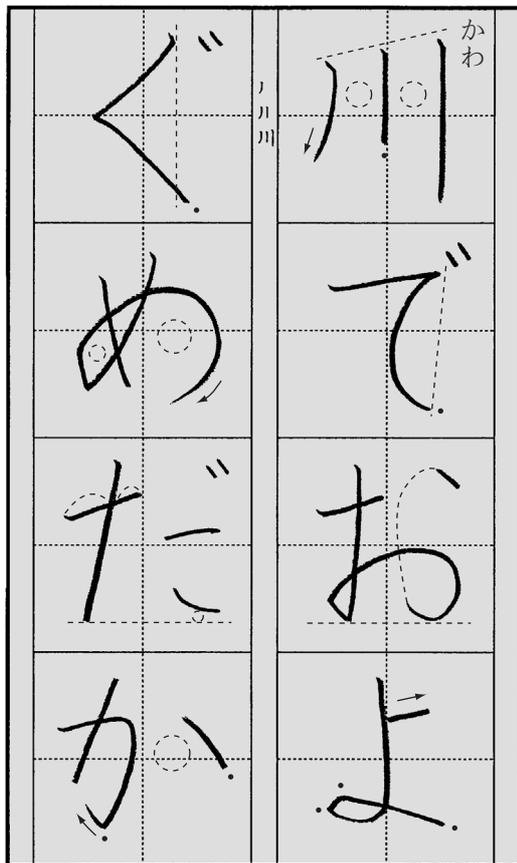
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ  
う  
年

小三年まで  
三宅容玉書



新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)

し	シ
い	イ
学	ガク
年	ネン
四	シ
月	ガツ
は	
新	あたらし

新入 1級

小 二 年

で	新	四
楽	し	月
し	い	か
み	学	ら
だ	年	は

準初段以上

※部屋=単語としてこのように読みます。

ぬ	お
り	部
絵	屋
を	で

新入 1級

小 三 年

絵	と	お
を	二	部
し	人	屋
ま	ぬ	で
す	り	妹

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

〈用具〉自由 (黒色に限る)

が	白
大	雪
成	ひ
功	め

新入1級

め	つ	案
が	た	を
大	白	出
成	雪	し
功	ひ	合

小四年

準初段以上

小四以上 須田一葉書

畑	美
絵	術
感	館
動	菜

解説 (よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

の	た	美
絵	菜	術
に	の	館
感	花	で
動	畑	見

小五年

(全員)

小六年

帰	こ	桜
る	ろ	が
予	故	満
定	郷	開
だ	に	の

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

郷	桜
帰	満
予	開
定	故

自由(黒色に限る)

中一年 (行書)

札	展	鉛
見	に	筆
に	招	画
行	待	の
く	さ	個

中二・三年 (行書)

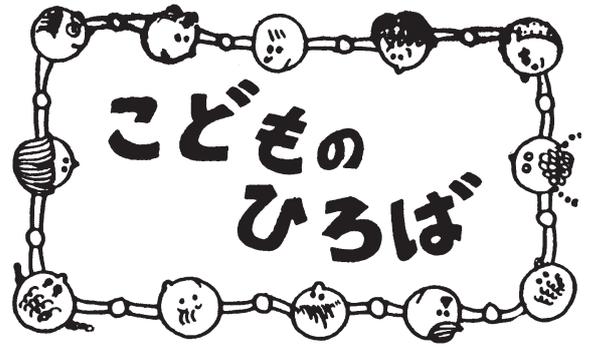
に	は	尊
通	礼	敬
じ	儀	す
た	作	る
父	法	人

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

▼小三年以下の課題 い とう ゆう こう 伊 藤 由 光 書

と	元 <sup>げん</sup>	ミ	は	お					
ん	気 <sup>き</sup>	ツ	た	花 <sup>はな</sup>					
で	い	バ	ら	畑 <sup>はたけ</sup>					
る	っ	チ	ら	で					
よ	ぱ	さ	き						
	い	さん	者 <sup>もの</sup>						
	い	が	の						

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 3月25日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 お ぎ そ か せい 小 木 曾 花 清 書

め	観 <sup>かん</sup>	人 <sup>じん</sup>	春 <sup>はる</sup>	家 <sup>か</sup>					
ぐ	光 <sup>こう</sup>	力 <sup>りき</sup>	の	族 <sup>ぞく</sup>					
り	地 <sup>ち</sup>	車 <sup>しゃ</sup>	の	そ					
ま	を	に	京 <sup>きょう</sup>	ろ					
す		乗 <sup>の</sup>	都 <sup>と</sup>	っ					
		っ	へ	て					
		て							

◎お手本はつけペン使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
  - 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
  - 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
  - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
  - 一、成績は評価により毎月変わります。
  - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小二 四月

幼年く小二  
年  
玉樹たまき  
小華書しょうか

せ

四 せ  
月 川

かどをしっかり

小一 川



小三  
小五年

水野の香竹書

中二・三

尊敬する人

小六

満開の桜

小六・中二・三年

奥村暢之書

展

満

尊

桜

敬

個

中一

個展を見る